



NAGASAKI  
MONO-GRAPH

# 14 株式会社 エミネントスラックス

— カブシキガイシャ エミネントスラックス



## 前後左右、どこから見ても美しく

シルエットの美しさがものを言うスラックス。平面で直線的な布を、人間の体にまどわせるよう立体的に丸みを持たせながら縫いあげていく。日本人の体形に合う穿き心地を追求した結果、製造工程は123以上にも及ぶ。少しのズレが仕上がりを左右するため一瞬たりとも気が抜けない。真剣な眼差し、流れるような手さばき。びんと張りつめた工場内にはミシンの音だけが響きわたり、まさに職人の仕事場といった空気に満ちている。スラックスの生命線である美しいセンターラインもさることながら、バックシルエットには多くの仕事が息づいている。その1つが「ピストルポケット」。ポケットの切り口に施した「玉縁」を細くして繊細さを強調。ヒップラインに沿うようプレス加工を加えることで口が開きにくくなり、立ち姿がスマートに。さらに裏の顔も必見。腰の動きと丸みに合わせたウエスト内側のタックや縫い代幅を前後で変える股下の縫い目など、まさに全方位スキなしの完成度だ。



**松浦発!!**  
 高品質・高付加価値製品を生産し  
 日本の名スラックスを目指す

｜ 補助事業のきっかけ ｜

**スラックスの付加価値を上げ  
 松浦の地から世界にはばたけ**

創業以来、50年にわたり「もの言わぬ・ものがもの言う・ものづくり」をモットーに受注生産を継続してきた。複雑な仕様や素材など、実験的な要望にも応えられる技術力でパターンオーダーやOEM、ODM先が年々増加。今後は地域企業とのタイアップを強化しながら、松浦の地から全国、ひいては世界中からも注目されるようなスラックスを開発していきたい。

｜ 補助事業の内容 ｜

**地元の企業とコラボしながら  
 最西端からおしゃれを発信**

県北エリアには男性ファッションをコーディネートできる3つの工場が隣接。平戸市にあるアリエス様のスーツ・ジャケット、佐々町の山喜様が手掛けるシャツ、そして当社のスラックス。このメリットを生かし、最西端ファッションプロジェクトが2015年から始動。パーツごとの縫製のこだわり、穿き心地の良さを追及するために3つの最新機器を導入した。

｜ 補助事業の成果 ｜

**職人の熟練の技と最新機器  
 相乗効果で品質の高さを追求**

後ポケットを縫う工程にポケットシーマーを、後ろ身頃のロック工程にオートサージャーを導入。その結果、それぞれの1日の縫製枚数が500枚から800枚に、300枚が500枚と効率がぐんとアップ。さらにCAD(AM200)の導入で型紙の製作時間が20分から10分と時間短縮が可能に。ユーザーの“自分らしい一着”を提供できる生産体制が整い、競争力を強化出来た。

Information	会社名	<b>株式会社 エミネントスラックス</b>
	住所 連絡先	松浦市志佐町浦免1676-2 ☎0956-72-0326 FAX.0956-72-2705 <a href="https://www.eminento.jp/">https://www.eminento.jp/</a> ✉vaem0122@eminento.co.jp
<ul style="list-style-type: none"> <li>□代表取締役 前田 周二</li> <li>□設立 1960年3月11日</li> <li>□資本金 6,510万円</li> <li>□業種 繊維製品製造業</li> <li>□従業員 200名</li> </ul>		